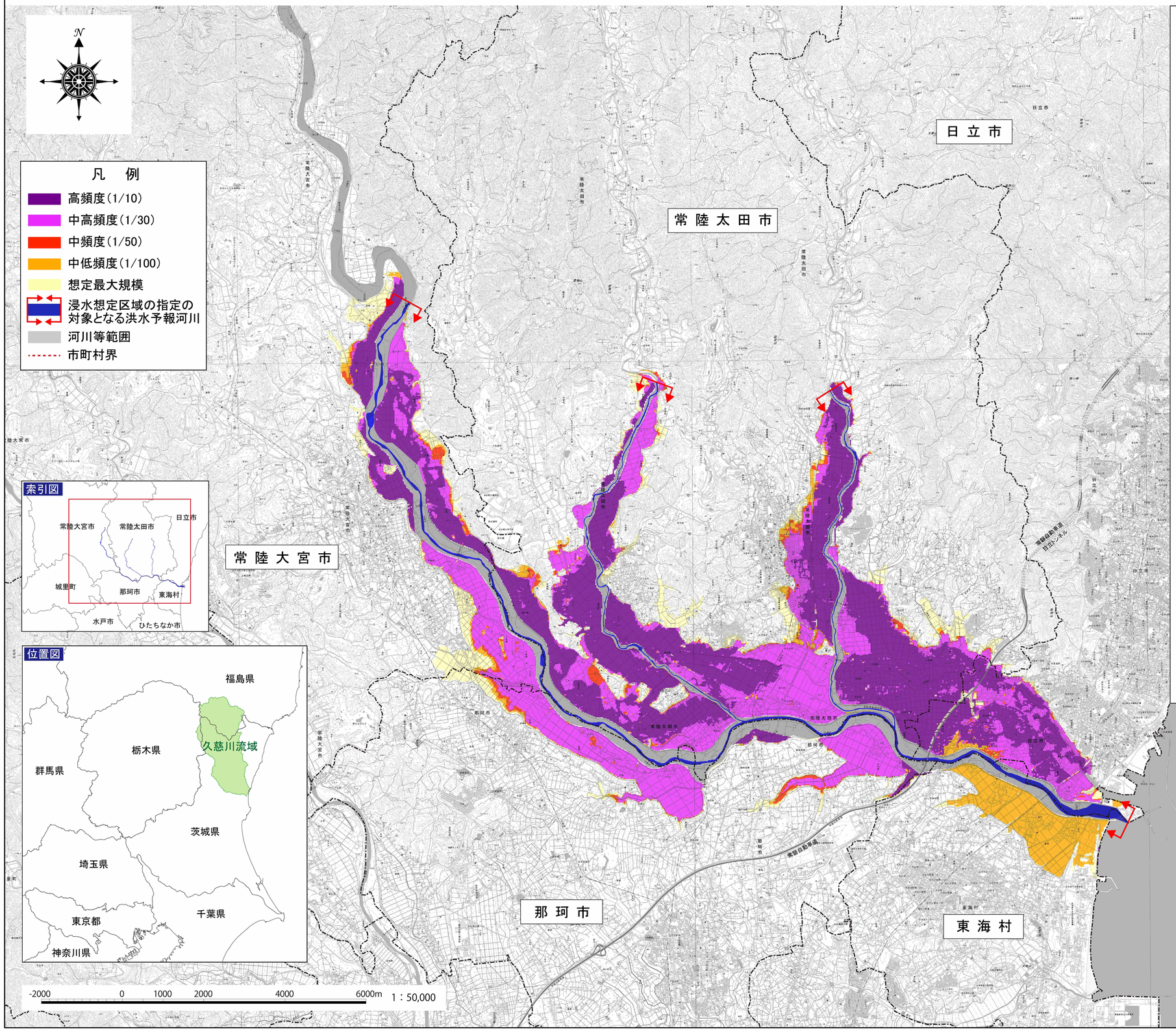
久慈川水系　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】

浸水が想定される範囲を表示



1．説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率 1/10、1/30、1/50、1/100 の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況の久慈川、里川、山田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1/10（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/10（10%））、年超過確率 1/30（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/30（3%））、年超過確率 1/50（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/50（2%））、年超過確率 1/100（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/100（1%））の降雨に伴う洪水により久慈川、里川、山田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（久慈川については昭和 61 年 8 月型、里川および山田川については昭和 33 年 7 月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（4）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成 28 年 5 月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（1）公表年月日：令和 4 年 8 月 31 日

（2）作成主体及び対象となる河川：国土交通省関東地方整備局
- 常陸河川国道事務所：久慈川水系久慈川、里川、山田川

（3）実施区間

【常陸河川国道事務所】
- 久慈川
  - 左岸：茨城県常陸大宮市辰ノ口字水門 2079 番 1 地先の辰ノ口堰から海まで
  - 右岸：茨城県常陸大宮市岩崎字岩花下 1111 番 1 地先の辰ノ口堰から海まで
- 里川
  - 左岸：茨城県常陸太田市茅根町字川原 240 番地先から久慈川合流点まで
  - 右岸：茨城県常陸太田市瑞龍町字大平 2959 番 1 地先から久慈川合流点まで
- 山田川
  - 左岸：茨城県常陸太田市和田町字下川原 1562 番地先の芦間堰から久慈川合流点まで
  - 右岸：茨城県常陸太田市東連地町字道下 2109 番 1 地先の芦間堰から久慈川合流点まで

（4）算出の前提となる降雨：
- 年超過確率 1/10（久慈川流域の 2 日間の総雨量　概ね 160mm、里川流域の 2 日間の総雨量　概ね 185mm、山田川流域の 2 日間の総雨量　概ね 180mm）
- 年超過確率 1/30（久慈川流域の 2 日間の総雨量　概ね 200mm、里川流域の 2 日間の総雨量　概ね 240mm、山田川流域の 2 日間の総雨量　概ね 240mm）
- 年超過確率 1/50（久慈川流域の 2 日間の総雨量　概ね 230mm、里川流域の 2 日間の総雨量　概ね 270mm、山田川流域の 2 日間の総雨量　概ね 250mm）
- 年超過確率 1/100（久慈川流域の 2 日間の総雨量　概ね 260mm、里川流域の 2 日間の総雨量　概ね 310mm、山田川流域の 2 日間の総雨量　概ね 300mm）

（5）河道条件：現況

（6）関係市町村：日立市、常陸太田市、常陸大宮市、那珂市、東海村

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

国土地理院の電子地形図 25000「茨城」を掲載。
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 103。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。